

フォーティネットソリューションの 第三者評価



NSS Labs 実環境グループテスト



目次

序文	3
NSS Labs とは	3
NSS Labs のセキュリティバリューマップを理解する	4
最新のセキュリティテスト結果	
次世代ファイアウォールテスト (2019 年)	5
データセンターセキュリティゲートウェイテスト (2018 年)	6
ブリーチ防御システムテスト (2019 年)	7
NEW 次世代不正侵入防止テスト (2019 年)	8
データセンター侵入防止テスト (2018 年)	9
高度なエンドポイント保護テスト (2019 年)	10
Web アプリケーションファイアウォールテスト (2017 年)	11
その他の最新のテスト結果	
SD-WAN テスト (2019 年)	12
まとめ	
総合評価	13
フォーティネットの第三者機関によるテストへのコミットメント	14
提案と結論	14

注：フォーティネットは、NSS Labs の最新のブリーチ検知テストで「Recommended (推奨)」評価を獲得しました。このテスト結果の内容は、当レポートには含まれておりません。

序文

データ侵害のリスク軽減に役立つソリューションの評価にあたっては、ベンダーの主張や「万能の解決策」を謳う宣伝文句に惑わされてしまう恐れがあります。ベンダーの主張だけを信じて IT セキュリティの購入を決断してしまうと、後悔することになる場合も多いようです。Forrester Research による、次世代ファイアウォール購入意思決定者を対象とする最近の調査 * で、71%がより包括的なテストを評価プロセスで実施すべきだったと回答し、61%がもっと多くのベンダーを検討すべきだったと回答しています。それでは、悔いの残らない決断をするにはどうすればよいのでしょうか。



評価にあたってより包括的な
テストを実施すべきだった



もっと多くのベンダーを
検討すべきだった

フォーティネットは、製品の品質の公平な評価には第三者機関によるテストが不可欠であり、IT セキュリティの購入を判断する誰もが公平なテスト結果を参考にすると考えています。フォーティネットは、信頼できる公平なテストに参加しているため、お客様は、他のソリューションと比較して、自社のニーズに最適なソリューションを選択していただけます。このようなコミットメントに基づき、フォーティネットは定期的に、第三者機関によるさまざまなテストに自社製品を参加させています。

市場に出回っているセキュリティソリューションの比較・調査をビジネスとしているアナリスト、研究者、評価機関は数多く存在しますが、他の要素に左右されない実環境の条件で製品を評価している個人や団体はそれほど多くありません。そして、そのような公平な比較・調査を専門とする代表的な機関が、NSS Labs です。

フォーティネットは、製品のレビュー、テスト、または評価への参加にあたり、以下の基準を前提条件として考慮しています。

- ✓ 明確に定義され、公開された方法を採用していて、お客様やベンダーからの意見を受け付けていること
- ✓ エンタープライズ規模の環境を想定し、実環境のトラフィックと最新の脅威が考慮されていること
- ✓ ベンダーが協賛者になっていたり資金援助をしたりしていないこと
- ✓ レポートや評価が定量化された基準と実証済みのパフォーマンスに基づいていること

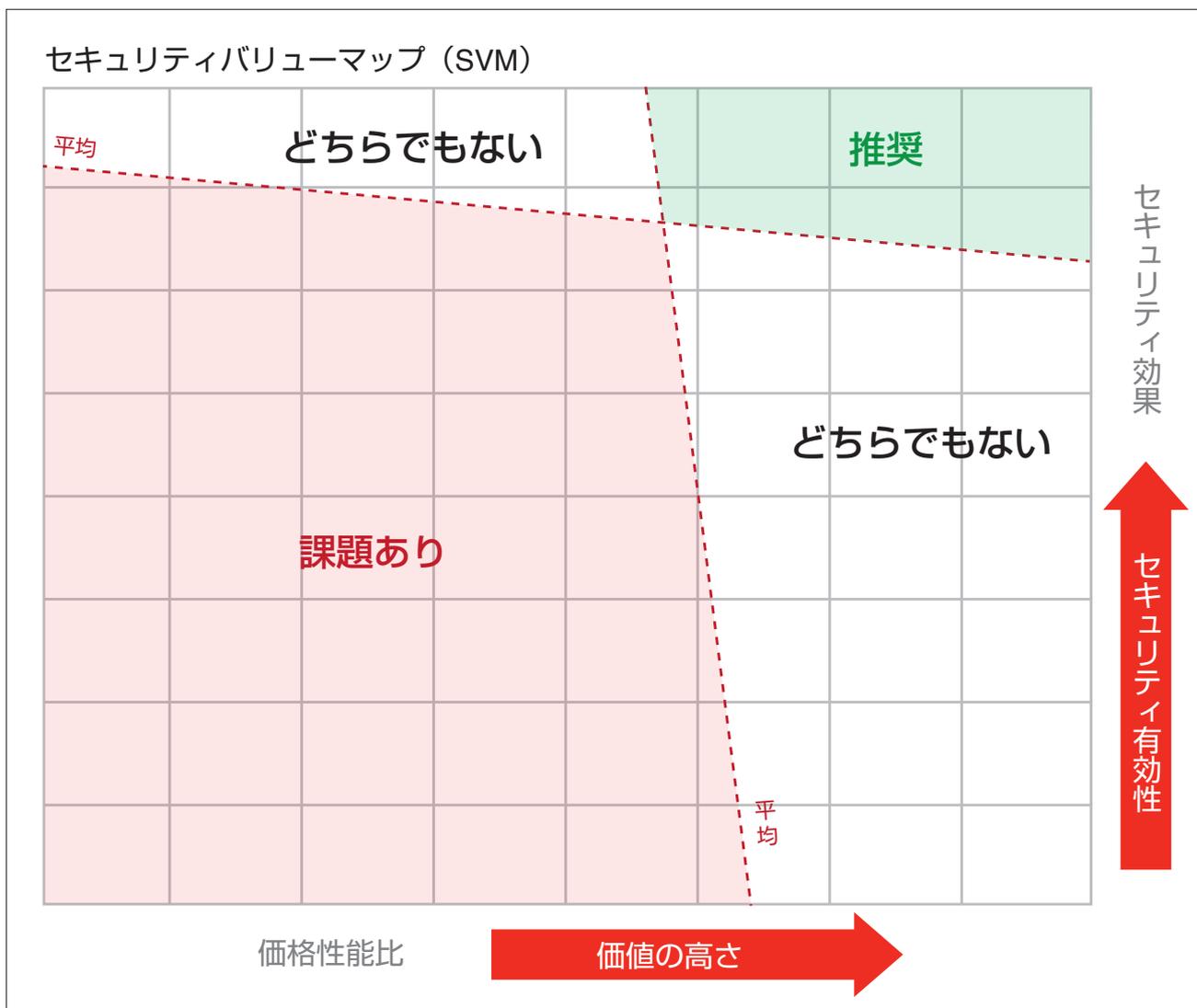
NSS Labs とは

- ① 世界有数のセキュリティ製品テスト機関
- ② IT セキュリティを専門としている
- ③ セキュリティ製品の詳細テストレポート、調査、および分析の各種サービスを提供している
- ④ テストの方法を一般公開し、ベンダーからのレビューや意見を受け付けている
- ⑤ 定期的かつ無料でテストを実施しており、ベンダーから参加費を徴収していない
- ⑥ CEO、CIO、CISO、情報セキュリティ専門家が、セキュリティ投資の判断にあたって NSS のレポートを活用している

* 「Your Best Defense: Next-Generation Firewalls Enable Zero Trust Security... Best Practices For Evaluating And Implementing A NGFW (最良の防御とは: ゼロトラストセキュリティを実現する次世代ファイアウォール ... NGFW の評価と実装のベストプラクティス)」、Forrester Research Inc., 2015 年 7 月

NSS Labs の製品評価の方法：NSS Labs のセキュリティバリュemapを理解する

NSS Labs は、セキュリティ有効性とパフォーマンスを考慮して、各製品の TCO を算出します。多くの場合、調査における発見事項が複数の異なるレポートとして公開されますが、その最上位に位置付けられるのが、「セキュリティバリュemap」(SVM) と呼ばれる要約レポートです。SVM には、テストされた製品のセキュリティ有効性と相対的な価値が図示されるため、購入対象となる複数のセキュリティ製品の相対的価値を一目で確認できます。NGFW、IPS、WAF、サンドボックスなどのテクノロジー分野ごとに SVM が作成されます。



X 軸：保護された測定単位あたりの 3 年間の TCO (メガビット / 秒、接続数 / 秒)

Y 軸：セキュリティ効果 (ブロック率)

4 つのエリア：

右上：「推奨」- セキュリティ効果と価格に対する価値が平均を上回る製品

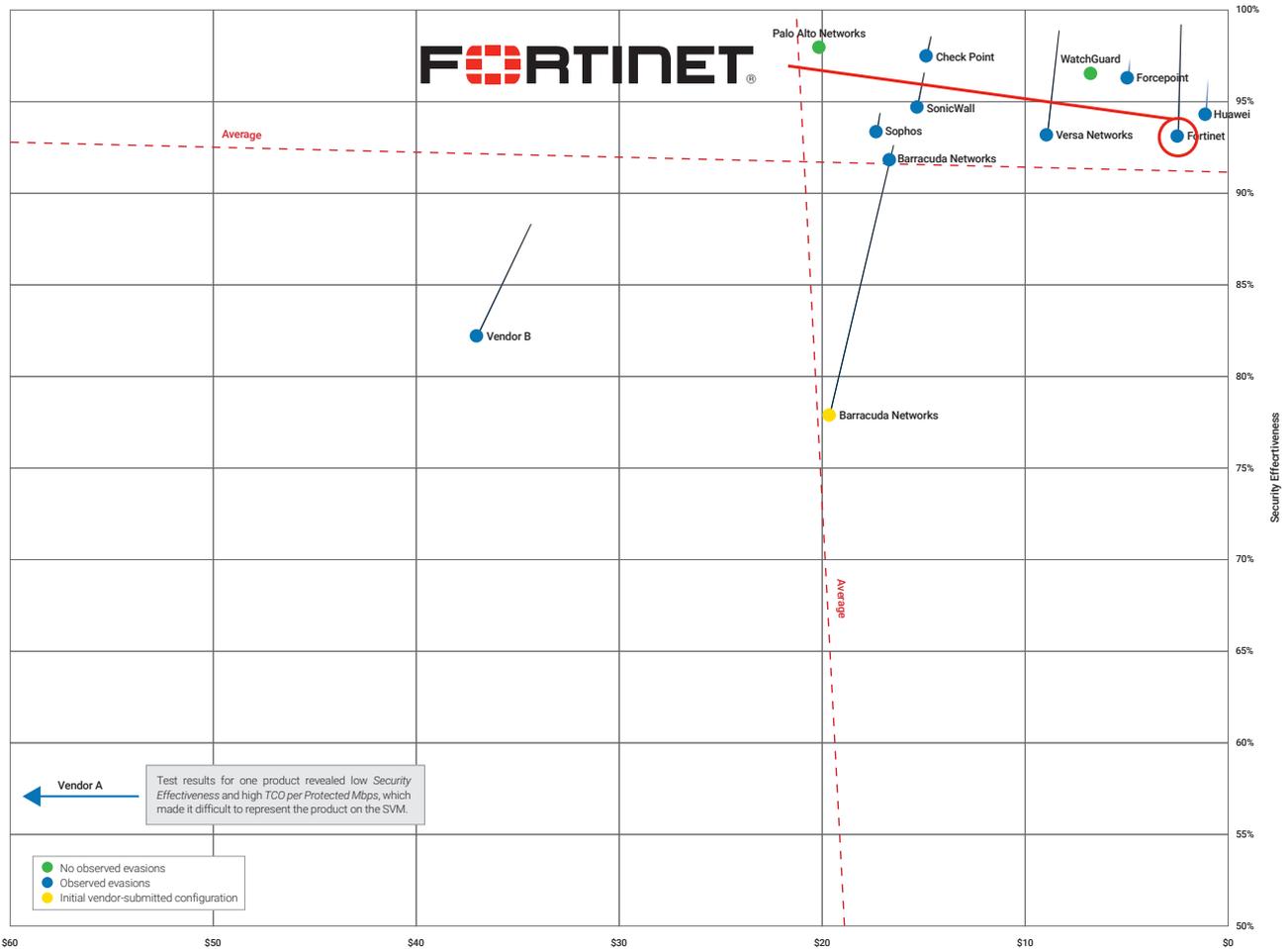
左下：「課題あり」- 価値とセキュリティ効果が平均を下回る製品

左上 / 右下：「どちらでもない」- 予算の制限によっては検討の余地がある製品

次のページからは、いくつかの主要 IT セキュリティテクノロジーと製品の最新の SVM をご紹介します。これらの SVM は、本書の発行日現在で最新のものです。

最新のテストの結果：

次世代ファイアウォール (NGFW) セキュリティバリュemap



次世代ファイアウォールテスト (2019年)

FortiGate 500E

テスト対象機能：

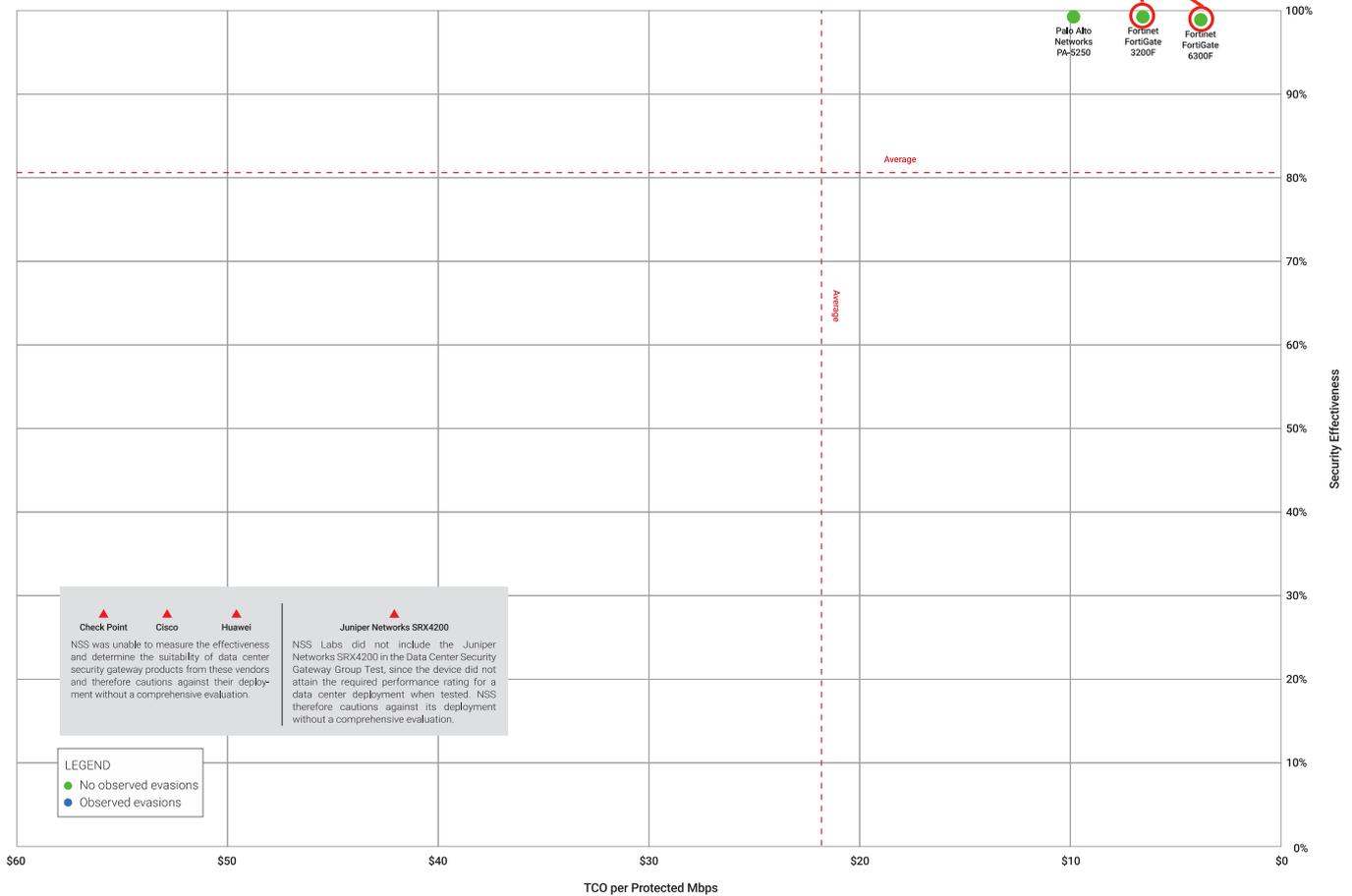
- 侵入防止 (IPS)
- アプリケーション制御
- SSL / TLS インспекション
- 回避テスト

結果：

- ✓ 6年連続で「推奨」評価
- ✓ エクスプロイトブロック率 99%
- ✓ 実環境のエクスプロイトブロック率 100%
- ✓ 最高の SSL パフォーマンス、性能低下は最小
- ✓ 極めて低い TCO (保護された Mbps あたり 2 ドル)



データセンターセキュリティゲートウェイ (DCSG) セキュリティバリュemap



データセンターセキュリティゲートウェイテスト (2018年)

FortiGate 3200D / 6300F

テスト対象機能：

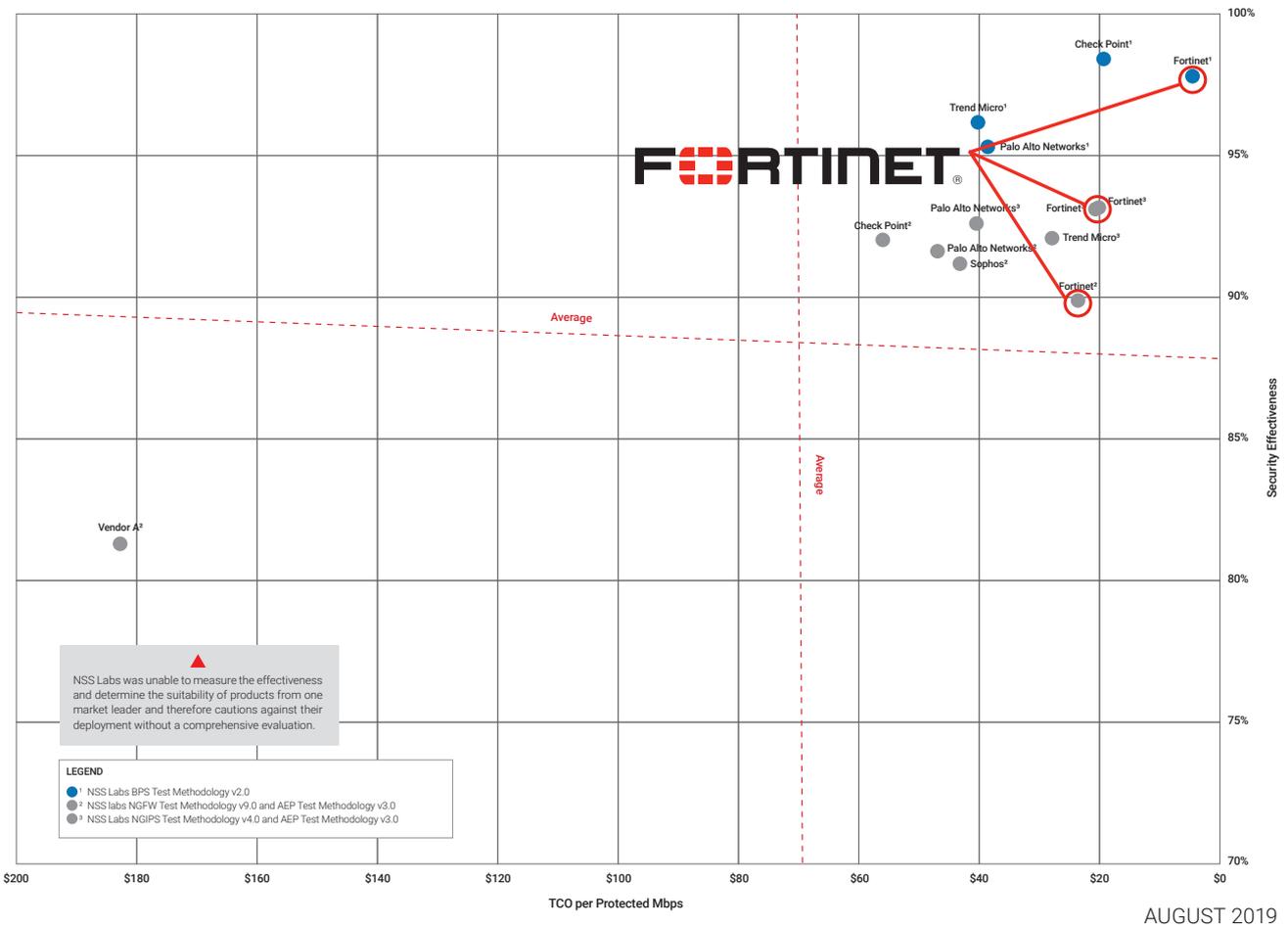
- データセンターファイアウォール
- データセンター侵入防止
- IPv4 および IPv6 のパフォーマンス
- 回避テスト

結果：

- ✓ どちらのモデルも「推奨」
- ✓ 99.2% / 99%のセキュリティ効果
- ✓ 回避技術ブロック率 100%
- ✓ 保護された Mbps あたりの TCO が最小
- ✓ 最高の「平均」スループット



ブリーチ防御システム (BPS) セキュリティバリュemap



ブリーチ防御システムテスト (2019年)

FortiSandbox on AWS、FortiGate 500E、FortiClient 6.2

テスト対象機能：

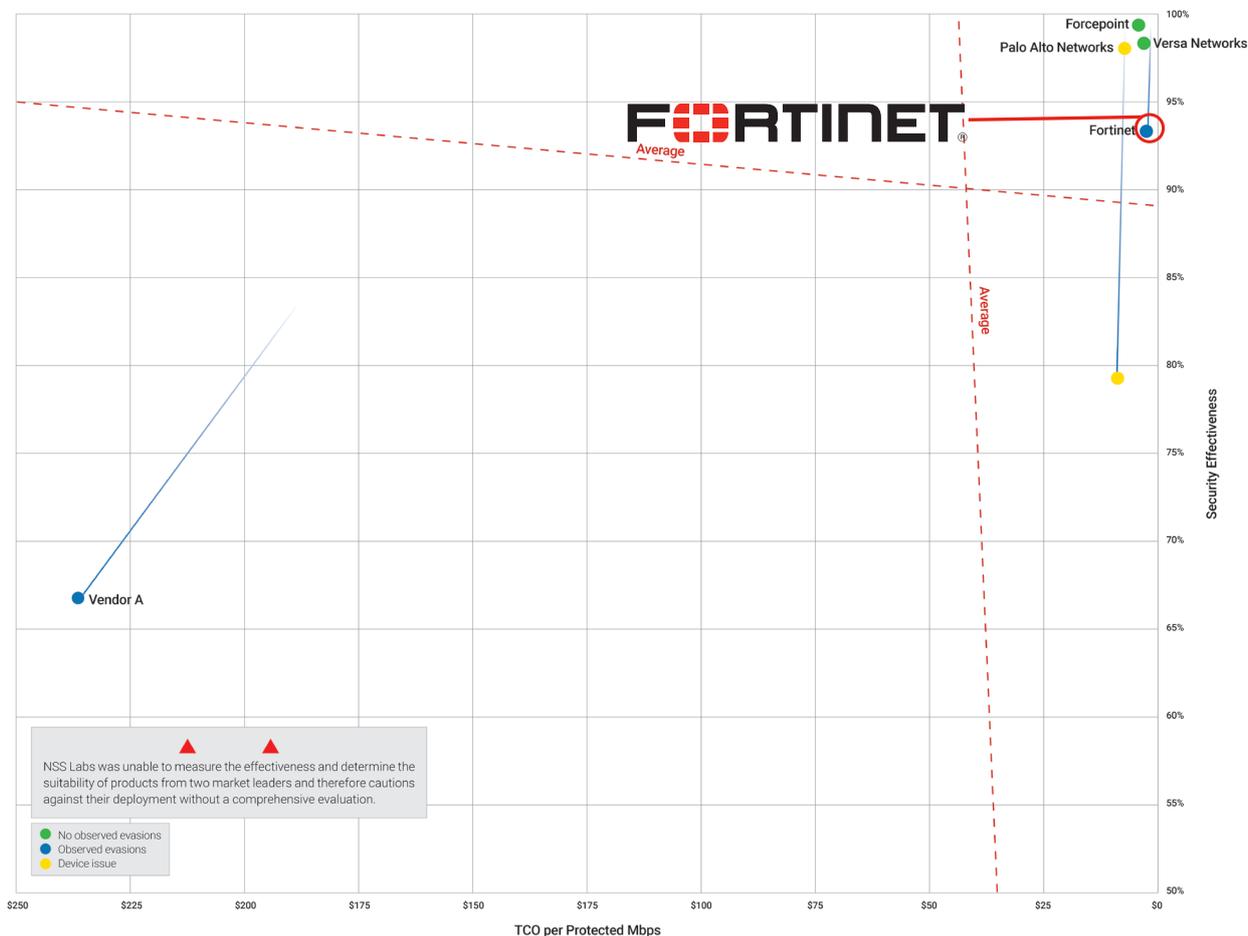
- Web、電子メール、および脅威ベクトルにわたるエクスプロイト、マルウェア、回避技術の検知と回避
- 誤検知数
- スループット
- 価値 / TCO

結果：

- ✓ 「推奨」
- ✓ ドライブバイ/ソーシャルエクスプロイトのブロック率 100%
- ✓ Web 経由で配布されたマルウェアの検知とブロック率 100%
- ✓ 電子メール経由で配布されたマルウェア検知とブロック率 99.4%
- ✓ 総合セキュリティ有効性 97.8%
- ✓ 誤検知率ゼロ
- ✓ 最小の TCO (保護された Mbps あたり 5 ドル)



次世代不正侵入防止 (NGIPS) セキュリティバリュemap



次世代不正侵入防止テスト (2019年)

FortiGate 100F

テスト対象機能:

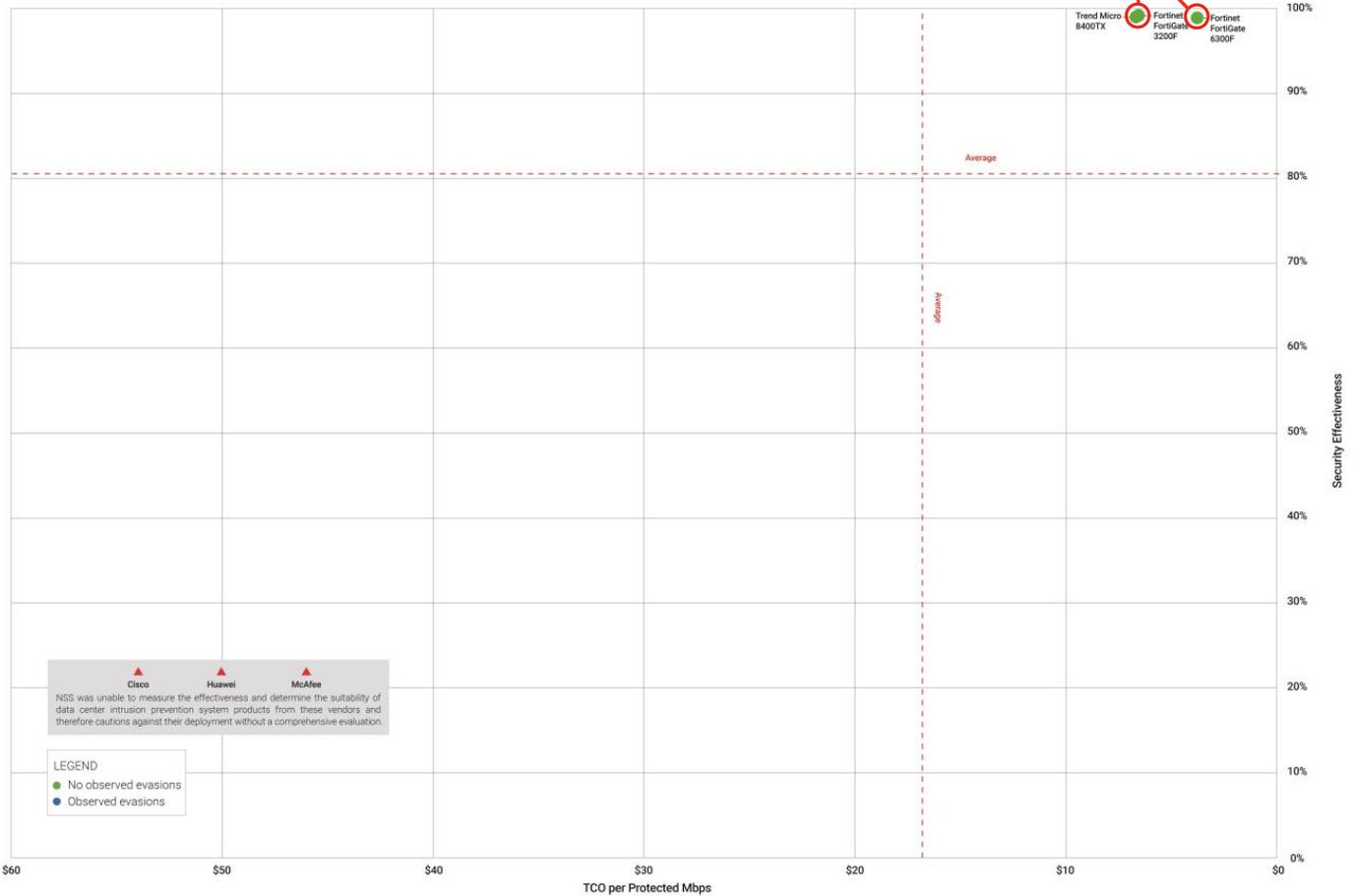
- 侵入防止システム (IPS)
- アプリケーション制御
- ライブおよびライブラリのエクスプロイト
- クライアントとサーバーにフォーカス

結果:

- ✓ 「推奨」
- ✓ 総合セキュリティ有効性 93.2%
- ✓ 総合エクスプロイトブロック率 99.18%
- ✓ ライブエクスプロイトブロック率 100%
- ✓ 最小の TCO (保護された Mbps あたり 2 ドル)



データセンター侵入防止システム (DCIPS) セキュリティバリュemap



データセンター侵入防止システムテスト (2018年10月)

FortiGate 3200D / 6300F

テスト対象機能：

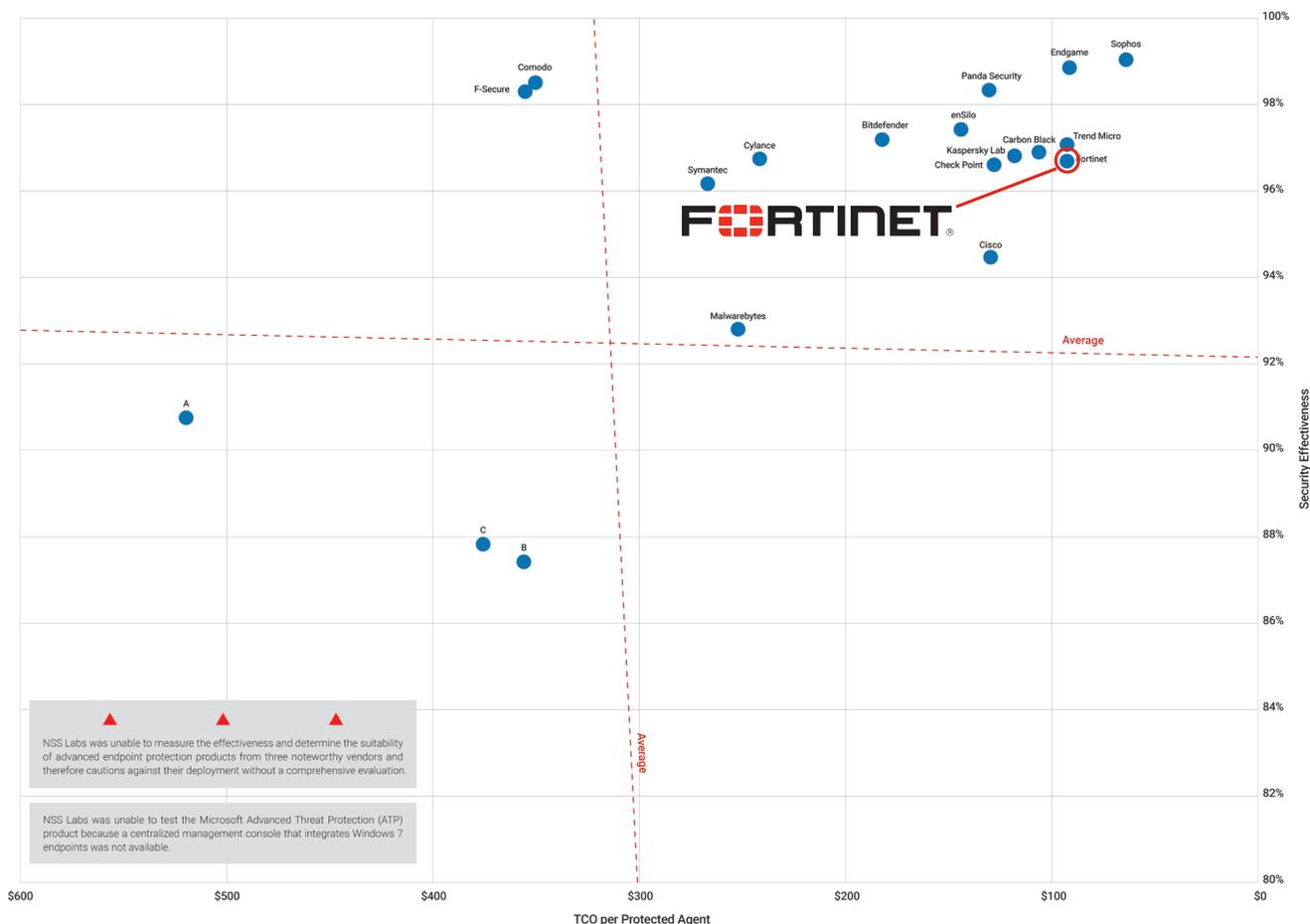
- データセンター侵入防止システム (IPS)
- IPv4 および IPv6 のパフォーマンス
- 回避テスト
- さまざまなトラフィックタイプのスループット

結果：

- ✓ どちらのモデルも「推奨」
- ✓ 99.2% / 99% のセキュリティ効果
- ✓ 回避技術ブロック率 100%
- ✓ IPv4 および IPv6 の優れたパフォーマンス
- ✓ 保護された Mbps あたりの TCO が最小
- ✓ 最高の「平均」スループット



高度なエンドポイント保護 (AEP) セキュリティバリュemap



高度なエンドポイント保護テスト (2019年)

FortiClient + FortiSandbox 統合ソリューション

テスト対象機能：

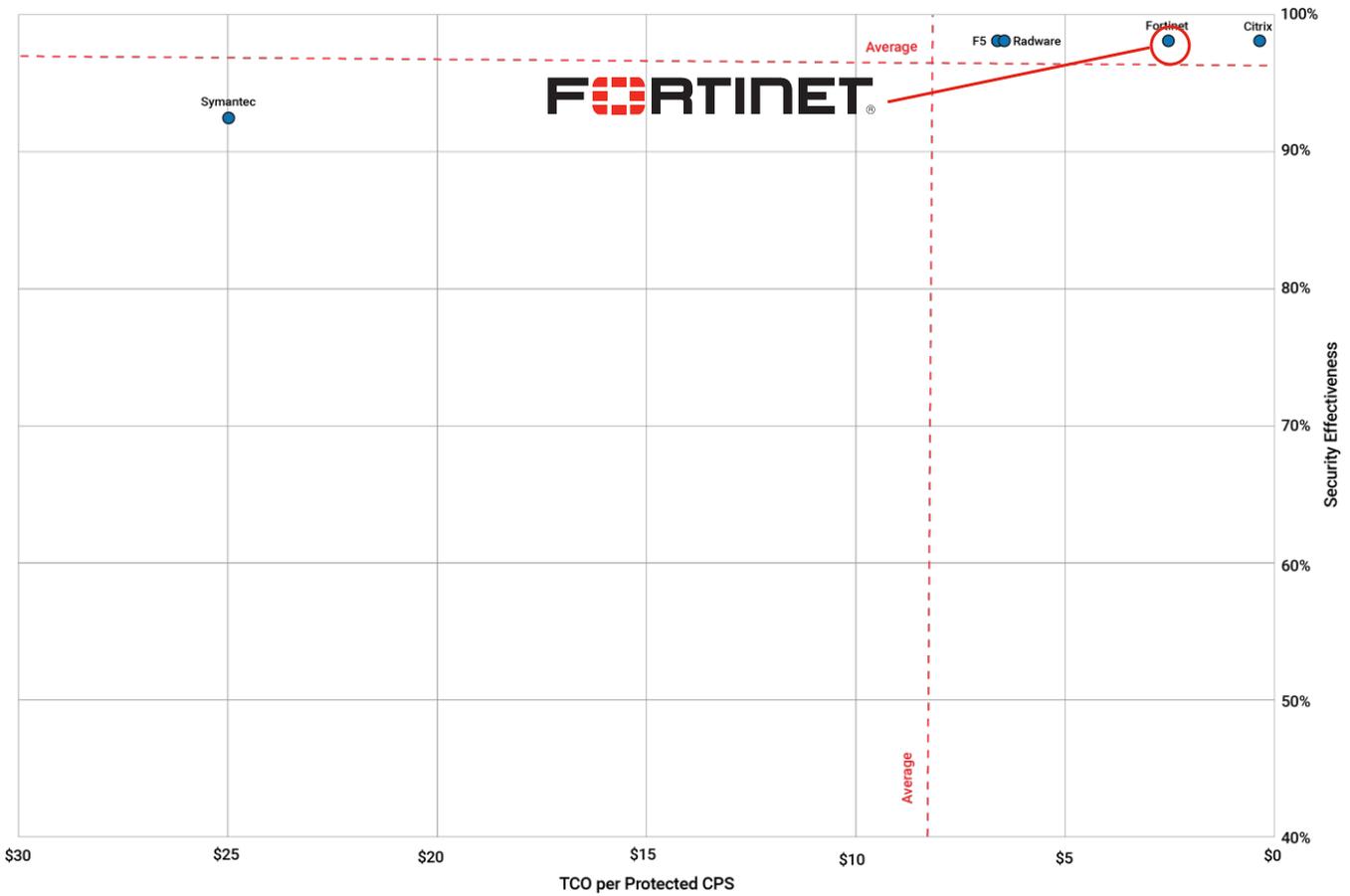
- 以下のテスト対象に対する有効性
 - － エクスプロイト、回避テスト
 - － オフラインおよび未知の脅威
 - － ドキュメントおよびスクリプトベースのマルウェア
 - － Web および Eメールで送り込まれるマルウェア
- 価値 / TCO

結果：

- ✓ 「推奨」
- ✓ 総合検知率 97.5%
- ✓ エクスプロイト、回避技術、および未知の脅威のブロック率 100%
- ✓ Web およびオフラインの脅威のブロック / 検知率 100%
- ✓ 誤検知率ゼロ
- ✓ 参加ベンダー中トップの ROI (3055%)



Web アプリケーションファイアウォール (WAF) セキュリティバリュemap



Web アプリケーションファイアウォールテスト (2017 年)

FortiWeb 3000E

テスト対象機能：

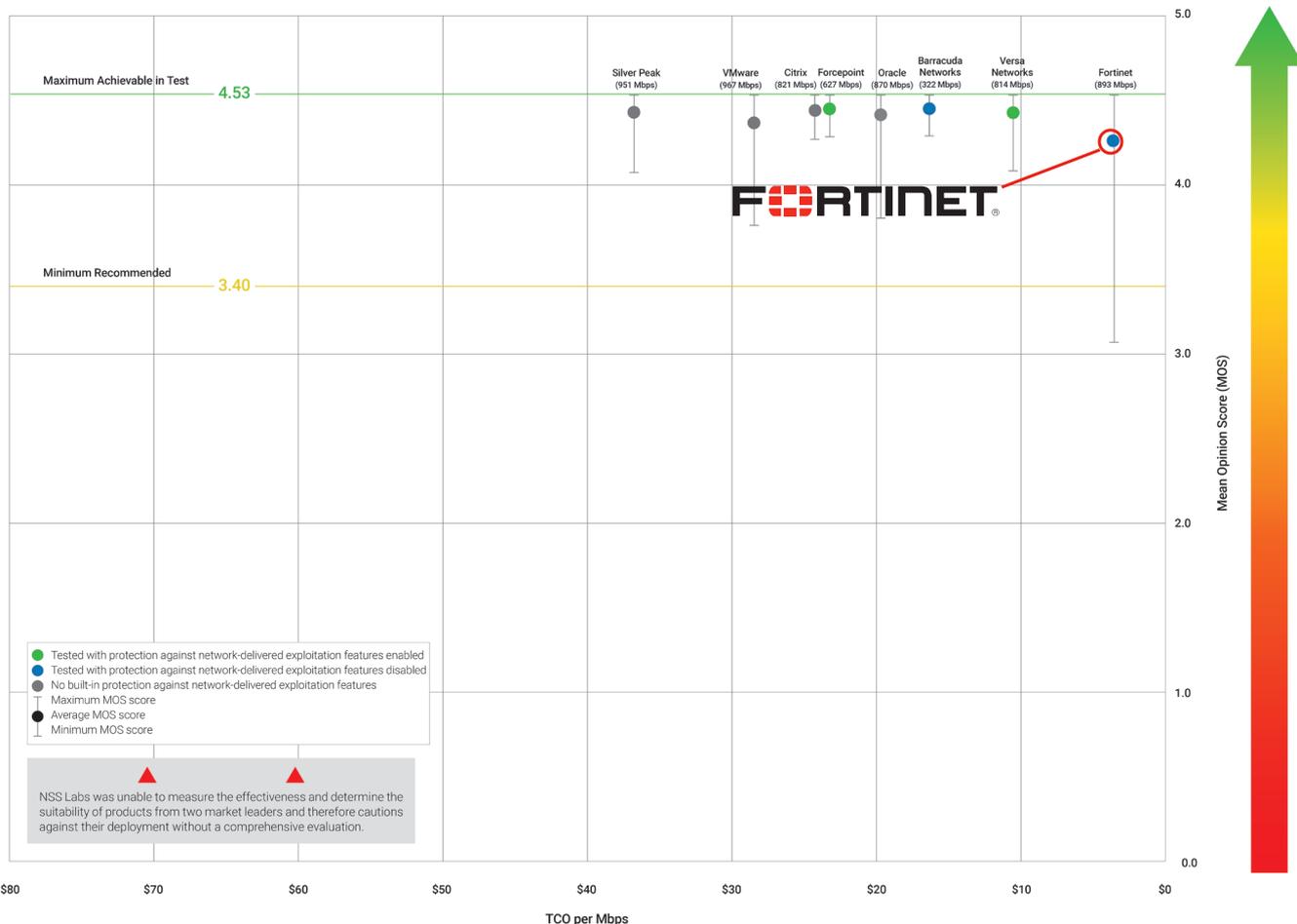
- 以下のテスト対象に対する有効性
 - クッキーおよび URL の操作
 - SQL インジェクション
 - クロスサイトスクリプティング
 - 回避技術
- スループット、価値 / TCO

結果：

- ✓ 「推奨」
- ✓ ブロック率 98.1%
- ✓ OWASP の 10 個のカテゴリのうち 9 個で 100% のスコア



ソフトウェア制御によるワイドエリアネットワーク (SD-WAN) バリュemap



ソフトウェア制御によるワイドエリアネットワーク (SD-WAN) テスト (2019年)

FortiGate 61E

テスト対象機能:

- プロビジョニング速度
- VoIP に関するユーザー体験品質
- ビデオに関するユーザー体験品質
- セキュリティ評価
- TCO / 価値

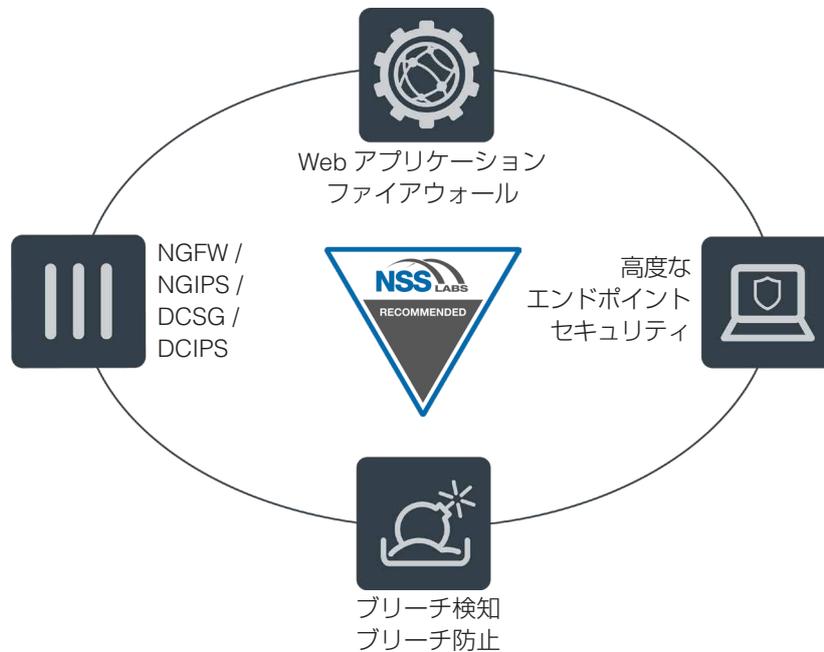
結果:

- ✓ 2年連続で「推奨」SD-WAN の評価を獲得
- ✓ 競合他社の 8分の1 となる最小の TCO
- ✓ ゼロタッチプロビジョニングでわずか 6分以内に展開可能
- ✓ ビデオと VoIP に理想的な信頼性の高いユーザー体験品質
- ✓ 高可用性 (HA) 環境においてトップのユーザー体験品質
- ✓ 内蔵の NGFW セキュリティは、6年連続で NSS Labs の「推奨」評価を獲得



総合評価 - エッジからエンドポイントまでのソリューションで唯一、NSS Labs の「推奨」評価を獲得

これらのテストに参加することで、フォーティネットと共に他社の製品が実環境における企業の要件と比較され、企業とフォーティネットの双方にとって価値ある公平な測定結果が提供されます。NSS Labs によって実施されたいずれのテストでも「推奨」評価を獲得してきたフォーティネットは、NSS Labs のエッジからエンドポイントまでの分野で「推奨」を獲得した、高度な脅威保護ソリューションを提供する唯一のベンダーです。



NSS Labs のグループテストにおける 9 年間のフォーティネットの評価を振り返ってみると、継続的な改善と優れた機能によって「推奨」評価の数が年々増加していることがわかります。また、NSS Labs の関連するすべてのテストに参加していることは、フォーティネットのコミットメントを証明するものでもあります。

製品	2011 年 / 2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
NGFW	どちらでもない	推奨	推奨		推奨	推奨	推奨	推奨
データセンター セキュリティゲートウェイ						推奨	推奨	
データセンター IPS			どちらでもない		推奨		推奨	
NGIPS				推奨	再テストで 合格	推奨	推奨	推奨
ブリーチ検知			推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	
ブリーチ防止						推奨		推奨
Web アプリケーション ファイアウォール			推奨			推奨		
高度なエンドポイント セキュリティ						推奨	推奨	推奨
DDoS					どちらでもない			
SD-WAN							推奨	推奨

2019 年 10 月 10 日現在

「第三者機関による実環境での検証は、ベンダーによる宣伝文句に惑わされることなくセキュリティ製品を検討したいと考える企業に不可欠なリソースであり、NSS Labs のテストで、フォーティネットの継続的な取り組み、すなわち、セキュリティの検出、パフォーマンス、信頼性、管理、および価値に対する高い業界標準を満足するというコミットメントが証明されています。」

- フォーティネット最高経営責任者 (CEO) Ken Xie

フォーティネットの第三者機関によるテストへのコミットメント

NSS Labs の「推奨」評価の獲得は、パフォーマンスが優れていて、考慮に十分に値する製品であることの証明です。ベンダーの市場シェア、規模、認知度にかかわらず、最も効果が高く、最高の価値を持つ製品だけが、NSS の「推奨」評価を獲得します。最近の NSS Labs のさまざまなレポートで、フォーティネットは継続的に「推奨」評価を獲得しています。また、NSS Labs の CAWS リアルタイムサービスでも、フォーティネットが一貫して極めて効果の高いセキュリティをお客様に提供していることが証明されています。

フォーティネットの第三者機関によるテストと認証へのコミットメントは、NSS Labs だけに留まらず、ICSA、AV Comparatives、Virus Bulletin を始めとする第三者機関によるテストでも、フォーティネットソリューションの効果が一貫して証明されています。フォーティネットは、ICSA Labs の栄誉ある情報セキュリティテスト (EIST) 優秀賞を 2015 年に受賞しており、情報セキュリティ認定テストで 10 年以上にわたって優れた成績を残しています。

提案と結論

Forrester Research による調査で、多くの IT セキュリティ購入決定者が自らの判断を後悔したことがあると回答しており、このような失敗を回避するために、IT セキュリティの次回の購入判断では、公平性に欠ける情報に惑わされないようにする必要があります。

- ✓ 誇大広告に惑わされることなく、真実を見極めるため、NSS Labs を始めとする独立機関による客観的な情報を活用する。
- ✓ 社内または外部のテスト機関に依頼して、客観的な比較・評価テストを実施する。テストにあたっては、実環境でのトラフィック負荷を使用し、機能をオンにした状態でも製品が要件を満足することを確認する。
- ✓ 効果、使いやすさ、パフォーマンス、価格、ベンダーの歴史などのお客様の基準に基づいて選択することで、確かな判断が可能になる。

フォーティネットは創業以来、自社ソリューションの効果を客観的に証明するために、第三者機関による公正なテストや認定に積極的に参加してきました。フォーティネットは、他のどのネットワークセキュリティベンダーよりも多くの認定を受けており、そのソリューションの高い効果が証明されています。これらのテスト結果は、実環境のトラフィックと導入のシナリオでフォーティネット製品が常に競合製品を上回る価値を提供し、公開されている仕様どおりに動作することを証明するものです。



FORTINET[®]

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ